

2014 ふかまるつながる宇治久世在宅事例検討会

日頃は宇治久世医師会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

今回の事例検討会はプレゼンターが医師ではありません。この会は「つながる」ことを大きな目標にしています。いろいろな専門職がつながること、患者さんと私達がつながること。その意味で今回から、新しい「ふかまるつながる在宅事例検討会」になります。

日時・場所:2014年5月24日(土) 宇治徳洲会病院 講義室 15:00～

司会: 村山 祐一郎さん

- ① 認知症の妻を介護しながら妻と共に小規模多機能事業所を利用している夫。
この老夫婦世帯の今後について考える

小規模多機能ホーム まごころ宇治 内藤雅貴さん

地域密着型として注目された小規模多機能。しかし果たして密着？そして多機能？その他制度上の問題も含めいろいろな課題があると言われていています。しかし地域包括ケアの一翼を担う制度であることには違いがありません。一緒に考えましょう。

- ② 支給限度額オーバー利用者(夫婦)の介護サービスの問題点と改善策の検討

宇治徳洲会訪問看護ステーション 有川順子さん

利用者の経済力やコスト感覚を把握することもサービスを提供する側の者の大切な能力です。サービスは契約です、その意味でもサービスの立案には気を使うところです。しかし現実はずっと複雑で多様です。そんな症例から介護の現場を学びましょう。

主催: 宇治久世医師会・宇治徳洲会病院・第二岡本総合病院、

事前学習がなくてもこの検討会に出るだけで在宅の現状が見えてきます。そして学ぶことができます。プレゼンターだけではなく、参加者のみんなが事例検討会の全体のクオリティを支えていく取り組みです。あたかも在宅現場で介護ヘルパーが、看護婦が、薬剤師が、医師がみんなで患者さんを支えるように。

したがって、この検討会は在宅に関わるすべての方が対象です。医師。行政職、ヘルパー、ケアマネ、看護師、薬剤師、包括支援センター職員、連携室スタッフほか参加者にほとんど制限はありません。是非皆さんもグループワークに参加してください。

宇治久世医師会

在宅医療・地域医療合同委員会